

〔参考〕平面図、立面図（正面図）、断面図（側面図）の作成方法

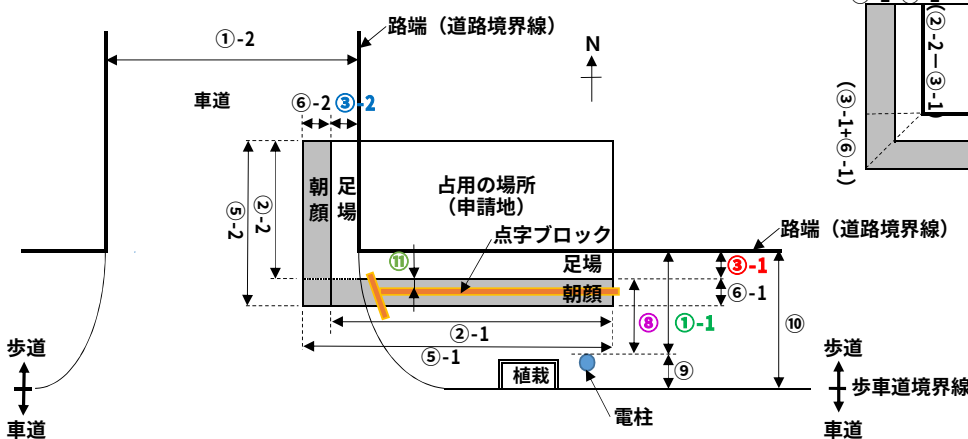
占用許可基準・注意事項

- 歩道を有する道路（ガードレール等で仕切られた準歩道を含む。）では、歩道上とし、その出幅（③-1）は路端から1.0m以下で、有効幅員（①-1）の3分の1以下とすること。
※有効幅員とは、ガードパイプ、ガードレール、電柱、植樹ます等を除いた通行可能な幅員です。
※通行の妨げとならないように、足場設置後の有効幅員（⑧）は、原則1.5m以上あること。
 - 歩道を有しない道路では、路端から1メートル以下（③-2）で、道路幅員（①-2）の8分の1以下とすること。
※道路幅員とは、L形側溝の縁部分を含みます。
※道路幅員が4.0m以下の道路沿い（隣接または対面）に駐車場出入口がある場合は、駐車場所有者及び使用者等から同意を得てください。同意を得られない場合は、掛け出し足場を推奨します。
 - 掛け出し足場を設ける場合は、歩道上では路面から3.5m以上（④-1）、歩道を有しない道路では路面から4.5m以上（④-2）とすること。（※警察の基準に合わせています）
※出幅は、路端から1.0m以下で、構造計算上問題がない出幅とすること。
 - 危険防止施設（朝顔）を設ける場合は、必要な出幅とすることが出来ます。その上空下端が歩道上では路面から4.0m以上（⑦-1）、歩道を有しない道路では路面から5.0m以上（⑦-2）とすること。
 - 板図に取り付ける出入口の扉は、道路に面して外開きとしないこと。
 - 板図には、法令の定め又は監督官公署の指示による表示及び施工主、請負業者名の表示（必要最小限に限る。）以外のものを掲げないこと。
 - 板図には、消火栓、マンホール等の操作、開閉に支障のないようにし、その位置を明示しておくこと。
- 注意事項
- 隣接して駐車場出入口がある場合や、交差点については必要な安全対策を講じてください。
 - 点字ブロックの近くに足場板図を設置する場合には、縦断方向の点字ブロックとの間隔（⑩）を30cm以上確保すること。
 - L形側溝上に足場板図を設置する場合には、水の流れる箇所から敷板等を10cm以上離し、雨水の流れを確保すること。
 - 工事用のクレーン、リフト、ゴンドラ等は、道路内に設置しないこと。

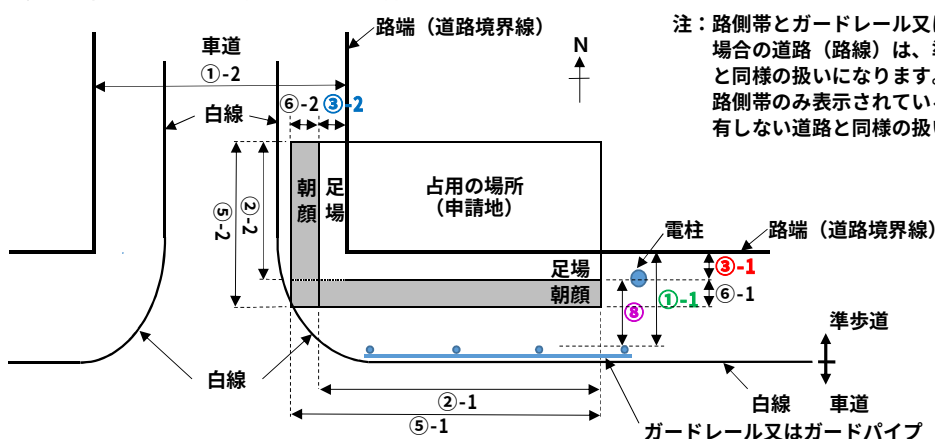
図面に以下の数量をメートル単位で小数第2位まで記載してください。（小数第3位切り捨て）

- | | | |
|----------------------------------|-------------------|-------------------|
| ①-1 足場設置前の有効幅員 | ①-2 道路幅員 | ②-1 足場の延長 |
| ②-2 足場の延長 | ③-1 足場の道路境界線からの出幅 | ③-2 足場の道路境界線からの出幅 |
| ④-1 掛け出し足場の高さ | ④-2 掛け出し足場の高さ | ⑤-1 朝顔の延長 |
| ⑤-2 朝顔の延長 | ⑥-1 朝顔の出幅 | ⑥-2 朝顔の出幅 |
| ⑦-1 朝顔の高さ | ⑦-2 朝顔の高さ | ⑧ 足場設置後の有効幅員 |
| ⑨ 歩道幅員（⑩）から足場設置前の有効幅員（①-1）を除いた距離 | | ⑩ 歩道幅員 |
| ⑪ 足場から点字ブロックまでの距離 | | |
- （注）「板図い」を設置する場合は、「足場」を「板図い」に読み替える。

平面図 面積計算（例1）の（求積図）
（歩道、車道（路側線（白線）なし）の場合）



（準歩道、車道（路側帯（白線）あり）の場合）



注：路側帯とガードレール又はガードパイプが設置されている場合の道路（路線）は、準歩道として、歩道を有する道路と同様の扱いになります。
路側帯のみ表示されている場合の道路（路線）は、歩道を有しない道路と同様の扱いになります。

足場、朝顔の面積計算

〔例1〕（長方形の面積計算式を用いた場合）

足場 $②-1 \times ③-1 = \bullet.\blacktriangle\cdots\text{m}^2$ （端数処理しない）
 $(②-2 - ③-1) \times ③-2 = \bullet.\blacktriangle\cdots\text{m}^2$ （端数処理しない）
 合計 $\bullet.\blacktriangle\cdots\text{m}^2$ $\bullet\text{m}^2$ （整数に切り上げ）

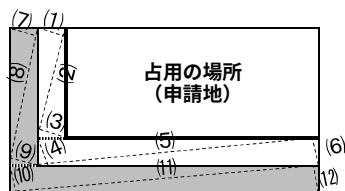
朝顔 $⑤-1 \times ⑥-1 = \bullet.\blacktriangle\cdots\text{m}^2$ （端数処理しない）
 $(⑤-2 - ⑥-1) \times ⑥-2 = \bullet.\blacktriangle\cdots\text{m}^2$ （端数処理しない）
 合計 $\bullet.\blacktriangle\cdots\text{m}^2$ $\bullet\text{m}^2$ （整数に切り上げ）

〔例2〕（台形、三角形の面積計算式を用いた求積の場合）

足場 $(②-2 - ③-1) \times ③-2 = \bullet.\blacktriangle\cdots\text{m}^2$ （端数処理しない）
 $③-1 \times ③-2 \times 1/2 = \bullet.\blacktriangle\cdots\text{m}^2$ （端数処理しない）
 $((②-1 - ③-2) + ②-1) \times ③-1 \times 1/2 = \bullet.\blacktriangle\cdots\text{m}^2$ （端数処理しない）
 合計 $\bullet.\blacktriangle\cdots\text{m}^2$ $\bullet\text{m}^2$ （整数に切り上げ）

朝顔 $(②-2 - ③-1) \times ⑥-2 = \bullet.\blacktriangle\cdots\text{m}^2$ （端数処理しない）
 $(③-1 + (③-1 - ⑥-1)) \times ⑥-2 \times 1/2 = \bullet.\blacktriangle\cdots\text{m}^2$ （端数処理しない）
 $(②-1 + ⑤-1) \times ⑥-1 \times 1/2 = \bullet.\blacktriangle\cdots\text{m}^2$ （端数処理しない）
 合計 $\bullet.\blacktriangle\cdots\text{m}^2$ $\bullet\text{m}^2$ （整数に切り上げ）

面積計算〔例3〕の（求積図）



〔例3〕（三斜による求積の場合）

足場 (2)×(1)×1/2=●.▲▲…㎡（端数処理しない）
 (2)×(3)×1/2=●.▲▲…㎡（端数処理しない）
 (5)×(4)×1/2=●.▲▲…㎡（端数処理しない）
 (5)×(6)×1/2=●.▲▲…㎡（端数処理しない）
 合計 ●.▲▲…㎡ ●㎡（整数に切り上げ）

朝顔 (8)×(7)×1/2=●.▲▲…㎡（端数処理しない）
 (8)×(9)×1/2=●.▲▲…㎡（端数処理しない）
 (11)×(10)×1/2=●.▲▲…㎡（端数処理しない）
 (11)×(12)×1/2=●.▲▲…㎡（端数処理しない）
 合計 ●.▲▲…㎡ ●㎡（整数に切り上げ）

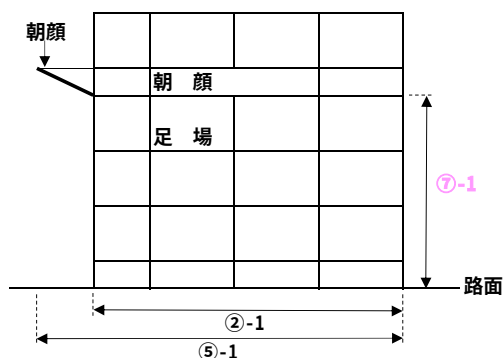
注：平面図に面積を求めるために必要な寸法が書ききれない場合は、別途求積図を作成してください。

座標による求積を行う場合は、座標点、座標値のリスト及び面積計算表も記載してください。

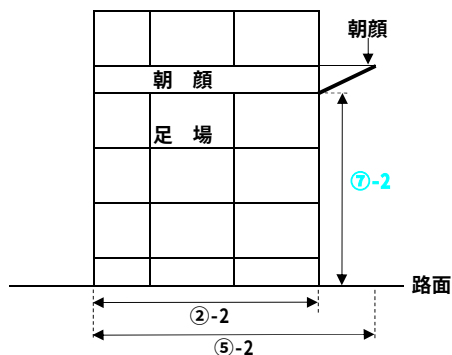
平面図に求積した結果の面積だけを記入している場合は、面積を求めるために必要な寸法の記入をしていただきます。

立面図（正面図）
（歩道の場合）

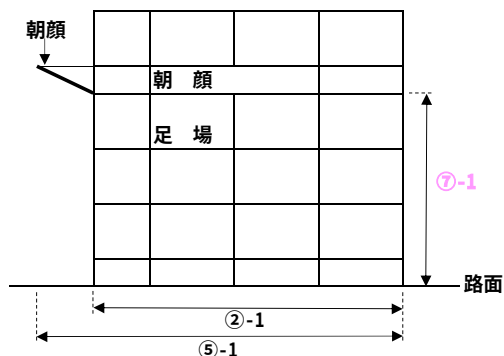
道路面に対してそれぞれ
立面図が必要です。



（車道の場合）

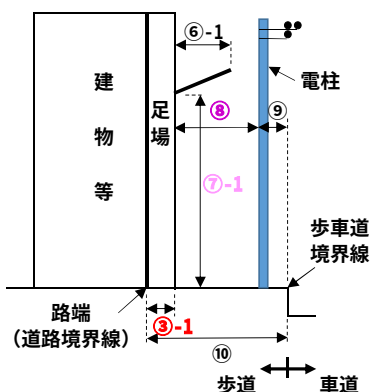


（準歩道の場合）

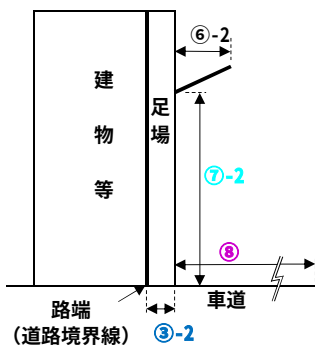


断面図（側面図）
（歩道の場合）

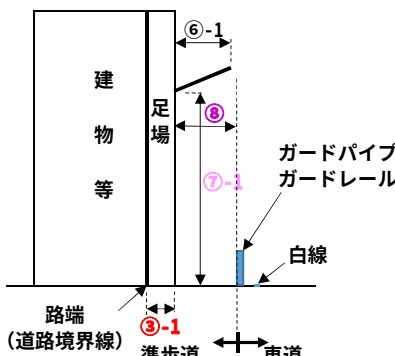
道路面に対してそれぞれ
断面図が必要です。



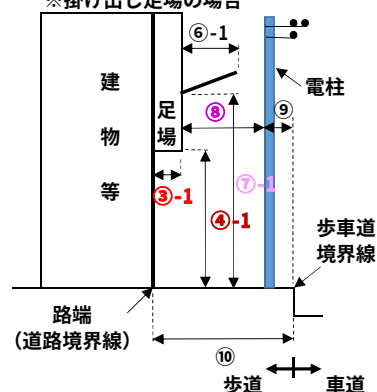
（車道の場合）



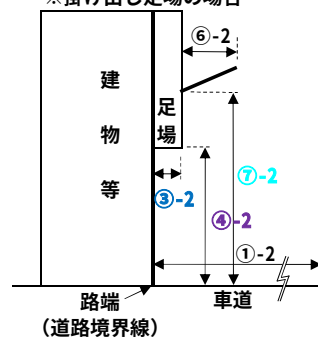
（準歩道の場合）



※掛け出し足場の場合



※掛け出し足場の場合



※掛け出し足場の場合

